

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもコミュニティルーム たいよう		公表日 2025年2月26日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	3		教具教材の準備ができていないので、今後どのようなものが適切なのか検討していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		訪問支援員を3名配置している。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	訪問後、スタッフ全員参加でのミーティングを行なっている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者等の意向をくみ取り、普段のサポートに努めている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々のスタッフミーティング内でいろんなことを話し合い、業務改善に繋げている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		今後、必要性をふまえ、検討事項とする。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		社外研修への参加。社内研修・伝達講習会等を定期的に行っている。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		モニタリング後の担当者会議において、スタッフからの意見を含めた計画書作成を実施している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5			今後作成する計画書内に意向を盛り込むように努める。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		担当者会議での話し合いにて本計画内容の確認を行っている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		児童の様子については、情報シートを作成し、共有を図っている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	必要に応じたサポート内容を設定しているが、成長過程における変化に対して日々のミーティングにて共有を図っている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		ミーティングにおいて、当日の利用予定児童の確認、サポート体制の確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		情報シートへの記入作業の際、スタッフ間で児童の様子、サポート内容の振り返りを行っている。	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	7		学校でのサポート方針を聞いたのち、施設内でのサポート方針の説明に努めている。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	7		訪問時のやり取りを中心に情報シートに記載している。		

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月毎にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		代表社員・管理者・児童発達支援管理責任者が参画している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		行政との連携を密に取り、サポート体制を整えている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5		今後、移行時のカンファレンス等に参加する機会があれば、積極的に参加し、情報共有・相互理解に努める。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		研修受講には積極的に参加できる勤務環境に努めている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6		開催時間帯を確認し、参加できる会議には参加している。	協議会開催時間が児童対応時間と重なった際は、安全面の管理を優先し、児童対応を優先している。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		利用中の出来事に関しては連絡ノート、公式LINE、お迎えのタイミング、送迎対応時を活用し、情報共有を図っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		今後、イベント開催等を企画し、交流機会を設けていけるように努める。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用契約時に契約書・重要事項説明書を用いて、説明をしている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5		趣旨、目的を伝えた上で、訪問支援を実施している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		本人が抱える課題、親御さんからのニーズをできる限り盛り込んだ個別支援計画書作成に努め、説明をした上で、サインをいただいている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6		計画書内容を説明した上で署名をいただいている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5		親御さんからの相談ごとに対して、傾聴し、できる範囲での助言に努めている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5		今後、父母の会活動への支援、保護者の交流機会を企画するよう、努めていく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		親御さんからの相談ごとに対して、傾聴し、できる範囲での助言に努めている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	4		2025年4月から随時更新を進めていく。
訪問先	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取扱いには十分留意している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		連絡ノート、公式LINEを活用し、意思疎通、情報伝達を行っている。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6		訪問先からの相談等があれば、対応できる体制を整えている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5		訪問支援を依頼する際、実施後のカンファレンスについての説明を行っている。	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5		訪問支援後、情報共有を図り、サポートに関する説明を行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取扱いには十分留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5		信頼関係が構築できるよう、情報共有に努めている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアル作成、想定訓練を実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	4	日々、危険箇所点検を行い、安全管理に努めている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ミーティングの中でヒヤリハット事例の検証、再発防止に向けた話し合いを実施している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		社外研修への参加。社内伝達講習にて適切な対応を心がけている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2	利用契約時に契約書・重要事項説明書内にて説明をしている。	今後作成する計画書内への記載を進めていく。